

寝具



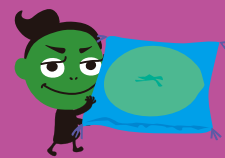
日本の伝統寝具の製作技術を後世に伝えるために! 競う

我が国でもめん綿の入った「蒲団」が庶民に使われるようになったのは、江戸時代からです。明治以降、産業の発展と共に誰でもふとんで寝ることが出来るようになったのです。一日の疲れを癒やし、明日への活力を生む睡眠には欠かせない寝具を高度な技術で仕上げます。

競技概要 競技時間 4時間40分(1日)

技能グランプリでは、掛けふとん90分、敷きふとん90分、円形座ふとん 60分、角座ふとん40分で4種類の寝具を4時間40分で全ての工程を手作業で製作します。

綿止め等の寸法は、競技当日発表されます。

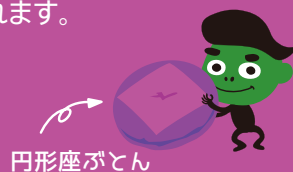


角座ふとん



第31回 競技課題

Point



円形座ふとん

出来上がった4種類のふとんを、外観・綿の入れ方・仕上げ方など1課題について8個の採点項目で評価して得点を集計します。出来上がったそれぞれのふとんは、仕上がりの良い布団ほど機能美を感じることが出来ます。特にふとんの角は職人の腕が表れています。

前回大会 金メダリストからメッセージ!

「時間」と「数」をこなして経験して、ダメなものはダメ、いいものはいいものっていうふうに見分けることができるようになるまでやったらどうかと思います!

掛けふとん
& 敷きふとん(資)水谷綿行
葛谷 芳乃 さん